

避難施設関係者連絡会実施報告書

1 実施日時 2022 年 7 月 25 日(月) 10 : 00 ~ 11 : 47

2 連絡会の場所(会場) 忠生小学校 3F オープンルーム

3 出席者 [書ききれない場合は裏面の空いてる欄に氏名の記入をお願いします。]

学校	忠生小	忠生小
	校長	副校長
役職	校長	副校長
	忠生忠	
	副校長	
	副校長	
役職	副校長	副校長

防災課 1名

指定職員 6名

市民

組織名 忠生中央町内会

組織名 東馬駟自治会

組織名 都営忠生3丁目自治会

組織名 忠生四丁目町内会

組織名 忠生忠霊地区自治会

組織名

組織名

4 打ち合わせ内容

(1) 避難施設開設運営マニュアルの共有

(2) 開設訓練に関して

5 議事録（連絡会の中ででた主な意見や意見交換内容など）

(1) 避難施設開設運営マニュアルの共有

【市民】指定職員の訓練はしているのか？⇒【防災課】定期的を実施している。

【市民】夜中に開設訓練はしているのか？⇒【防災課】実施は少ない。

【市民】様々なケースがあるので、夜中に訓練ができていると安心である。

【市民】職員参集までの時間がわからない。最初は地域の人が対応することになる。

【市民】難しいとは思いますが、職員参集までの時間がわかるのか？訓練をしないと、何をしたら良いが分からず心配である。

【市民】状況を想定した訓練を実施し、振り返りや評価をできればよいと思う。（警察・消防も含む）

【市民】コロナ禍でも行える開設運営を地域と防災課で一緒に考えたい。

【学校】小中どちらの学校に誰が行くかを各町内会で決定した方がよい。町内会ごとに使用する施設を決めるべき。

【学校】初動対応が一番大変である。毎年持ち回りで町内会から各学校の委員長を決めた方がよい。主となる町内会、副となる町内会を決めるなど初動対応の体制を示してほしい。

【市民】町内会で班ごとに担当施設を決めている。ただ受け入れ側の体制や準備状況がわからない。

⇒【防災課】小は700人、中は900人収容である。在宅や分散避難に今後はなっていくと考えている。

【市民】単身者が多い。心理的に安心するため、避難所に来る方もいる。

【市民】町内会加入者は60%程度であり、その部分を考慮して想定するべきである。町内会未加入者、単身者、帰宅困難者まで受け入れるべきか、町内会加入者が避難できなくなる可能性がある。

【市民】町内会加入者を集めて避難所へ行ったが、未加入者が既に避難していて入れないケースも想定される。事前に対応を考えておくべきである。

【学校】加入者と未加入者の対応を市として明確にすべきである。加入者は中学校、未加入者は小学校にするなど基準を設けてはどうか。

【市民】訓練でも加入者と未加入者未加入者の受付を行うべきである。

【市民】地域住民の身内が避難してきた場合の対応を考えるべきである。

【市民】避難施設の対応は自主防災組織が主体となると思うが、住民の個人情報事前に集めることが難しい。

【市民】災害時、町内会が連絡を取れる職員を用意してほしい。

【市民】避難広場（公園など）を障がい者などでも使いやすいように、整備することを検討してほしい。

【市民】加入者と未加入者の対応を市として示してもらえれば、加入のメリットとして説明できる。

【市民】防災カレッジを未加入者に配布した。このような啓発を継続的に行ってほしい。

【学校】加入者と未加入者の対応は、市として統一の見解を出すべきである。

【市民】備蓄物資の配布ルールを訓練で確認した方が良い。

(2) 開設訓練について

年度内に1回開催し、小中の先生と防災課で日程を調整する。今回は、発災から開設・受付までを行う。

割り振りを考えて実施する。各町内会で役員が避難する施設を確認する。
